

三原市民と市長の「みらいトーク」(第7回) 実施結果

令和3年4月28日

目的 市長が地域や団体の活動の場に出向き、市民との対話を通じて市政やまちづくりに対する積極的な意見や提案を広く聴き、今後の市政運営に活かすとともに、市民の市政への参画機会の拡充を図ること。

日時 令和3年4月28日(水曜日) 18時15分から19時45分

場所 三原市役所本庁舎4階 第一応接室

参加者 市内在住の外国人(6名)、三原市長

- ・参加者は、市内企業で働いている方、個人事業主、語学ボランティアとして活動している方、結婚のため本市で生活している方など
- ・地域で外国人とともに活動されている団体や外国人を雇用する企業等を通じて、市が選定

内容 各項目について市長が質問し、参加者から意見を聴取。

1 三原に住んで良いと思ったところ

参加者の意見)

- ・空港や港、在来線、新幹線もあり、これら全部がそろっているのはすごい。
- ・気候が良く、降雨量が少ないのもうれしい。
- ・三原の海が大好きで、住居を決める時は、毎日、海が眺められる場所を選んだ。
- ・台湾の海と三原の多島美は全く違う。竜王山から見る多島美は、あまりにもきれいでとても印象的。圧倒された。
- ・サイクリングができるのも良い。
- ・渋滞が少ないし、駐車場もたくさん空いている。
- ・家の近くにお店がたくさんあるので、買い物をするのに便利である。
- ・除夜の鐘を見て、日本らしさを感じた。すごいと思った。
- ・子育てにやさしいと思う。保育所と幼稚園の待機児童がないし、3歳以上は教育費無償なところがよい。
- ・日本に来てもっと都会に住みたかったが、住めば都で好きになった。今の住んでいるところの魅力は人とのつきあいや絆で、困ったことがあると声をかけたら、周りの人が力を貸してくれる。ここを離れて、もっと便利なところに行こうと考えたこ

ともあったが、周りの人との付き合いを考えたら我慢しようという気持ちになる。
それが魅力だと思う。

市長の意見、回答)

- ・大和町はもちろん、三原は人のつながりや絆が強いと思う。日本の人のつながりの良さに気づいてもらえて、とてもうれしく思う。

2 三原に住んで、困ったことや大変だったこと

参加者の意見)

- ・日本に来て初めて住んだ場所がとても田舎でショックだった。バスは1日に1便で、コンビニも1店しかなく、遊びに行くところもなかった。
- ・異文化理解できていない方もおられ、日本語を勉強しようと思っても教えてくれる人がいない。例えば、ベトナムでは犬の肉を食べるが、日本ではその文化がないため、理解されない。知る機会が必要ではないか。
- ・田舎なので方言が多く、標準語と違うので全く分からない。
- ・多文化交流センターのような場所が欲しい。
- ・イベントやお祭りを通じて異文化理解をする機会を作ってほしい。
- ・福山の公園と比べて遊具が少ない。ポポロにはよく行くが遊具が少ないので芝生で遊んでいる。もっとたくさんあったらよいと思う。
- ・教育委員会のコロナ対応に関して、東広島は子供が楽しむ行事をなるべく中止にしないように工夫して行っているが、三原市は何もかも中止にしているように思う。例えば、卒業式も屋外ですれば、もっと長い時間できたのではないかと思う。
- ・ごみの分け方がよくわからない。
- ・Wi-Fi がつながる場所が少ない。

市長の意見、回答)

- ・それぞれの国の文化を知る機会があれば、お互いの理解につながる。
- ・ごみの出し方は地域によって異なるので、ガイドブックとして配られているが、自国とも大きく違い、大変だと思う。三原市の公式LINEに登録すると、自分の住んでいる地域のごみの日を知らせてくれて便利なので、ぜひ活用してほしい。

3 その他

- ・情報の入手方法はスマホが主。インスタやFB, LINE は使っている。
- ・市のホームページや Facebook, LINE は日本語でしか発信されておらず、読むのはすごく難しい。
- ・日本は ICT が遅れていると思う。台湾は交通機関や公共施設どこでも Wi-Fi が使用できる。
- ・三原市独自のオープンチャットを作ってはどうか。いろいろな言語の情報が集まるが、自分の欲しい情報だけ見ることができるし、市が管理するとセキュリティ面も守られるので良いと思う。LINE よりもオープンチャットの方が楽だと思う。
- ・地域でお神輿に参加させてもらっているが、日本の文化を勉強できるし、日本人との付き合いも強くなって、いろいろなことを教えてもらえる機会なので、そういった機会をたくさん作ってほしい。
- ・祭りには、ただ遊びで参加するのではなく、スタッフとして参加して、日本人と一緒に準備などもお手伝いしたい。
- ・世羅の観光農園や花まつりなどのイベントについては、チラシなどで情報がよく分かるが、三原市のイベント情報が全く分からない。
- ・高度な日本語を駆使できる外国人のデータベースを作ってほしい。日本語を駆使できる人を把握し、うまく利用して、情報発信できるのではないかな。
- ・日本語ができない人への支援はあるが、日本語ができる人への支援がない。個人事業主として、語学を活かした仕事をしたい。
- ・学校の授業で Chromebook を活用し、私たちのような日本語ができる外国人とネットにつながり、子供たちが外国人に質問したりしてお互いにやり取りできると国際理解にもつながるのではないかな。依頼があればぜひ協力したい。
- ・外国人の起業支援があればいいと思う。
- ・三原市のイベントに出店したいと思ったが、条件があって参加できなかったのだから、外国人だけ出店できるようなイベントがあっても面白いのではないかな。
- ・駅前新しい図書館ができたが、駅の規模にしては集客が弱い。
- ・ペアシティも人が少なくて怖い。立地条件がいいので、レンタルオフィスなどが入るとよいのではないかな。
- ・外国人を受け入れる企業を増やしてほしい。三原にもっと働ける場所、その選択肢が

多くあると、外国人がもっと増えるのではないか。

- ・広報みはらに外国人の人口も掲載してほしい。
- ・映画館がほしい。

市長の意見、回答)

- ・スマホや SNS を活用し、皆さんに情報が届きやすく、生活が便利になるように検討していきたい。
- ・皆さんに外国人ならではの視点で、三原の人が気づいていない魅力を情報発信してもらい、市の祭りなどを PR してほしい。皆さんの言語で情報発信してもらえると、より多くの人に三原のお祭りのことや三原の魅力を知ってもらえると思う。
- ・祭りに参加することは、祭りの良さや日本の文化をたくさん感じられる瞬間になると思うので、ぜひメンバーとして参加してもらって、一緒に盛り上げてほしい。
- ・アフターコロナで、外国人観光客が戻ってきてくれたら、飲食店のメニューの翻訳やブログでの情報発信をお願いしたい。
- ・日本語が得意ではなくても、日本語が得意な人が母語で情報発信してくれれば情報が受け取りやすいという仕組みを作ることはいいアイデアだと思う。
- ・日本人と外国人の交流がもっと活発化していくといいと思うので、教育の場や行事などを活用していきたい。
- ・広報みはらで、「がんばっている外国人」という特集をしたら面白いかもしれない。
- ・皆さんには、ずっと住み続けてもらいたいし、三原に住んで良かったと思ってほしい。
- ・アフターコロナでは、皆さんと三原の人との交流する機会が増えて、皆さんの友達や家族に来てもらえるように、今日の意見を参考にさせていただきたい。